

マーガレット・ミッチェル
十九通の手紙

A DYNAMO
GOING TO WASTE

ジェーン・ボナー・ピーコック・編

edited by Jane Bonner Peacock

羽田詩津子・訳

translated by Shizuko Hata



Letters Copyright © 1985
Trust Company Bank as Executor and
Trustee under the Will of
Stephens Mitchell
Remainder of the Work Copyright © 1985
Jane Bonner Peacock
Japanese translation Copyright © 1994
Ushio Shuppansha Co., Ltd.
This book is published in Japan
through I.C.P. Inc., New York.

マーガレット・ミツチエル 十九通の手紙

一九九四年三月 十五日印刷

一九九四年三月二十五日発行

著者 マーガレット・ミツチエル

編者 ジェーン・ボナー・ピーコック

訳者 羽田詩津子

装丁 木村裕治 宮島里加子

発行所 株式会社潮出版社

〒一〇二東京都千代田区飯田橋三一一一

電話 東京〇三—三三三〇—〇七四一(営業部) 三三三〇—〇七七一(編集部)

振替 〇〇一五〇—五—六、〇九〇

本文印刷 明和印刷株式会社

付物印刷 栗田印刷

製本 東京美術紙工

定価はカバーに表示してあります。

(乱丁・落丁本は送料弊社負担でお取り替えいたします。)

本書の内容の一部あるいは全部を無断で複写複製(コピー)することは、
法律で認められた場合を除き、著作者および出版社の権利の侵害となり
ますので、その場合には予め小社あて許諾を求めて下さい。

©S.Hata 1994 Printed in Japan.

ISBN-4-267-01348-9 C0098

「九通の手紙」

マーガレット・ミッチェル

A DYNAMO
GOING TO WASTE

ジェーン・ボナー・ピーコック・編

edited by Jane Bonner Peacock

羽田詩津子・訳

translated by Shizuko Hata



1912年マーガレットの11回目の誕生日の直前、一家はピーチツリー・ストリート1149番地の白い柱が並ぶコロニアル様式の家に引っ越した。マーガレットはこの家で24歳まで暮らした。本書に収められた手紙を書いたのも、ここに暮らしていた時代である。 courtesy Atlanta History Center



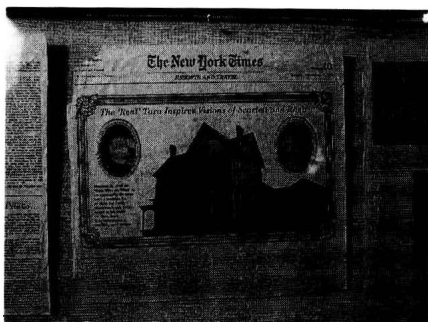
架空の町・タラのモデルとされ、かつては壮大な棉花のプランテーション地帯だったという古びた農場に、置き去りにされたままの農機具。



マーガレットの祖母の家。少女時代、ここで祖母から南北戦争の話を何度も聞かされていたことが、『風と共に去りぬ』の時代背景となる。



スカーレットが住んでいた樺の木屋敷「トゥエルヴ・オークス」のモデルといわれる静かなたたずまいのラブジョイ・プランテーション。



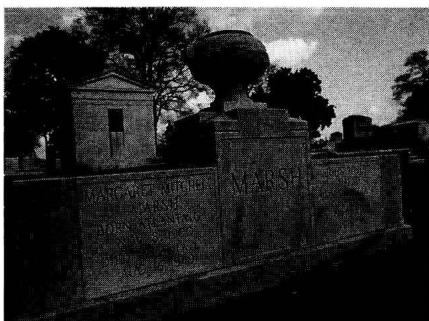
ラブジョイ・プランテーションの応接間の壁に貼ってあった『ニューヨーク・タイムズ』の切り抜き。「幻のクラカが実在した!？」とこの家を紹介している。photographed by Junichi Takahashi



夫のジョン・マーシュとともに、39歳から逝去する48歳まで過ごした
ピートモンド・アヴェニュー1368番地のアパート。部屋の間取りは当
時のまま。



アパートの壁のプレートには、『風と共に去りぬ』の原稿はマーガレット
の死後、このアパートのボイラー室にて燃やされたと記されている。



オークランド・ヒストリカル墓地にあるマーガレットの墓。夫のジョン・マーシュの墓と並んでいる。
photographed by Junichi Takahashi



1930年頃のマーガレット・ミッチェル。「こんなしゃれ者を見たことがあって？」
とこの写真の裏にマーガレットの筆跡で書かれている。
courtesy Atlanta History Center



1919年頃、マーガレットと知り合った当時のアムハーストでのアレン・エディ。
出会いはダンス・パーティーで、マーガレットが18歳、アルが22歳の春だった。
courtesy James P. Edee



『風と共に去りぬ』のラストシーンを彷彿とさせる、アトランタの空を赤く染める夕焼け。



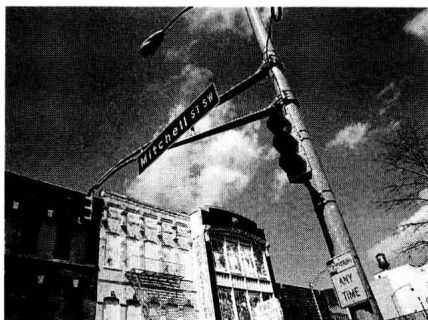
タラ・ロード沿いにあるシャーウッド・メモリアル・パーク。可愛らしい花々が献花され、一瞬、秘密の花園を思わせる。



南軍の要塞だったリッチモンドの戦場公園。7万人以上の負傷兵が運ばれたという。いまは子どもたちの元気な声がこだまする。
photographed by Junichi Takahashi



巨大な彫刻ストーンマウンテン。南北戦争での南軍の英雄たちを記念して、50年の歳月を費やし完成した。



超高層ビルが林立し、すっかり近代化したアトランタ市街の中心部を走るミッチェル・ストリート。



典型的な南部の住居。春には、サザン・ベル（南部美人）を象徴するマグノリアの白い花が、どの家の庭先でも美しく咲きみだれる



1935年に映画『風と共に去りぬ』のプレミア・ショーが行われたローズ・グランド劇場前には、当時10万人を超える群衆が厳寒のなか詰めかけた。



現在のローズ・グランド劇場前。この界隈は、マーガレット・ミッチェル・スクエアと名づけられている。

photographed by Junichi Takahashi



「彼は信じられないくらいすてきだけど、なぜわたしに声をかけたのかわからない」(154ページ)。レット・ハトラーのモデルになったという説もある最初の夫ベリアン・アップショウといっしょのマーガレット。
courtesy Atlanta History Center



マーガレットが女学校に入学した14歳のとき、席を共同で使って以来の親友で、2人は「ふたごのシャム猫」みたいだったと語るコートニー・ロス（右）と彼女の夫のパーニス・M・マクファディアン。courtesy Courtenay Ross McFadyen